

Circle SaaS

vs

FUTURESHOP

Circle SaaS と FUTURESHOP の比較

国産ASP型EC / アパレル循環型サブスクの運用基盤として比較

基準時点：2026年6月 作成日：2026年6月25日 circle-saas.jp

結論

FUTURESHOPはブランドECの表現力と、店舗在庫まで含むオムニチャネル運用に向きます。Circleはアパレル循環（レンタル・返却・再販・診断）に特化した運用基盤です。ブランドECの自由度や既存店舗との在庫統合ならFUTURESHOP、返却を前提とした循環型レンタルならCircleが向きます。

料金の実態

スタンダード 初期¥22,000～/月額¥24,000～。オムニチャネルは初期¥752,000/月額¥160,000。レンタル循環は別途。

機能・コスト比較

機能・運用

	Circle SaaS	FUTURESHOP
アパレルサブスク特化の標準機能 レンタル前提の設計	✓	×
会員診断エンジン 7ステップ診断→プラン提案	✓	×
定額レンタル運用 出荷・返却サイクル管理	✓	×
返却品の再販（リコマース）	✓	×
レンタル→購入の転換	✓	×
レンタル在庫・個体管理	✓	×
店舗受け渡し・OMO 同一在庫で店舗連携	✓	オムニ別プラン
4つの収益モデルを一体運用 月額・購入・転換・再販	✓	×
自社ブランド表示（ホワイトラベル）	✓	✓
日本語サポート・国内決済	✓	✓

立ち上げ・コスト

	Circle SaaS	FUTURESHOP
初期費用	¥0	¥22,000～
月額（基本料金） 決済手数料は別	¥34,800～	¥24,000～
立ち上げ期間	最短14日	通常ECは短期
レンタル運用の追加開発	不要	個別開発

どちらが向くか

Circle が向くケース

- ✓ 定額レンタルの出荷・返却サイクルを標準機能で回したい
- ✓ 返却品の再販で在庫を収益化したい
- ✓ 診断を起点にした会員体験を作りたい
- ✓ レンタル前提の個体在庫を店舗とオンラインで連携したい

FUTURESHOP が向くケース

- ブランドECサイトのデザイン自由度を最優先したい
- 通常販売が中心で、レンタル要素が当面ない
- すでにFUTURESHOPで運用し移行コストを避けたい

よくある質問

Q. FUTURES SHOPとCircleはどう使い分けますか？

ブランドECサイトのデザインや通常販売、既存店舗とのオムニチャネル運用が主目的ならFUTURES SHOPが向きます。返却を前提とした定額レンタル・再販・購入転換を一体で運用するならCircleが適しています。

Q. FUTURES SHOPにもオムニチャネル機能がありますが、Circleとの違いは？

FUTURES SHOPのオムニチャネルは通常販売の在庫・会員を店舗とECで統合する仕組みです（オムニチャネルプランは初期¥752,000／月額¥160,000）。CircleのOMOは「レンタル個体の店舗受け渡し・返却」を同一在庫で扱う点が異なります。

Q. レンタル個体の管理はできますか？

Circleはレンタル品を1点ごとの個体として管理し、出荷・返却・クリーニング・再販までの状態を追跡します。汎用ECの在庫管理とは設計思想が異なります。

14日間の無料トライアルで、循環運用をそのまま試す

初期費用¥0・カード登録不要。収益シミュレーションと個別相談も承ります。

circle-saas.jp で相談する

出典・参考

futureshop 料金

<https://www.future-shop.jp/price/>

futureshop omni-channel 料金

<https://fs2x.future-shop.jp/price/>

料金改定のお知らせ（2026/8/1～）

<https://www.future-shop.jp/news/2026/05/13.html>

掲載の料金・機能は各社の公開情報（2026年6月時点）をもとにした当社の比較です。各社は仕様・料金を改定する場合があります。最新の正確な情報は各社の公式サイトをご確認ください。料金は特記なき限り税込・基本料金で、決済手数料やオプション費用は含みません。

Circle SaaS / 本資料は社内での比較・検討にそのままご利用いただけます。最新の料金・機能は各社公式サイトをご確認ください。